

授業科目名	哲学	担当教員	熊谷征一郎
選択	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

**【授業概要】**

文明の発祥から現代に至るまでの哲学の展開をたどる。東洋と西洋の哲学的パラダイムを比較し、臨床の知の再生の意味を探求する。人間の生と死、他者と愛、文化と価値観、現代社会の問題点などを哲学的視点から論議する。

**【授業目的・目標】**

現代の哲学的パラダイムの源泉を理解し、人間や人間に関する現象を理解する。

**【履修条件】**

特になし

**【授業計画】**

- [01] イントロダクション：哲学とは何か
- [02] 西洋と東洋における人生および死の哲学（古代～現代）
- [03] 西洋における愛の哲学（古代～現代）
- [04] 東洋における愛の哲学（古代～現代）
- [05] 東洋と西洋における文化および価値観の哲学（古代～現代）
- [06] 西洋における他者および身体の哲学（古代～現代）
- [07] 東洋における他者および身体の哲学（古代～現代）
- [08] 今日における臨床哲学の可能性

**【教科書】**

指定なし

**【参考書】**

1. 泉治典・渡辺二郎編（1983）：西洋における生と死の思想、有斐閣
2. 中村雄二郎（1992）：臨床の知とは何か、岩波書店
3. 野家啓一・木村敏監修（2012）「自己」と「他者」——臨床哲学の諸相、河合文化教育研究所

**【評価方法・評価基準】**

1. 授業リフレクティブレポート：50%
2. 学期末レポート：50%

**【講義のために必要な事前・事後学習】**

事前学習：前回の授業中に提示された課題をする。

事後学習：講義資料をもとに学習内容を振り返る。

**【教育目標（必須要素）との関連】**

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅶ．国際的視野の育成と地域貢献能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

**【試験や課題レポート等に関するフィードバック】**

授業リフレクティブレポートには、次の授業の冒頭でコメントおよび補足説明をする。

**【備考】**

議論では自分の考えを積極的に発言し、主体的に参加してほしい。